



**MELT
DOWN**

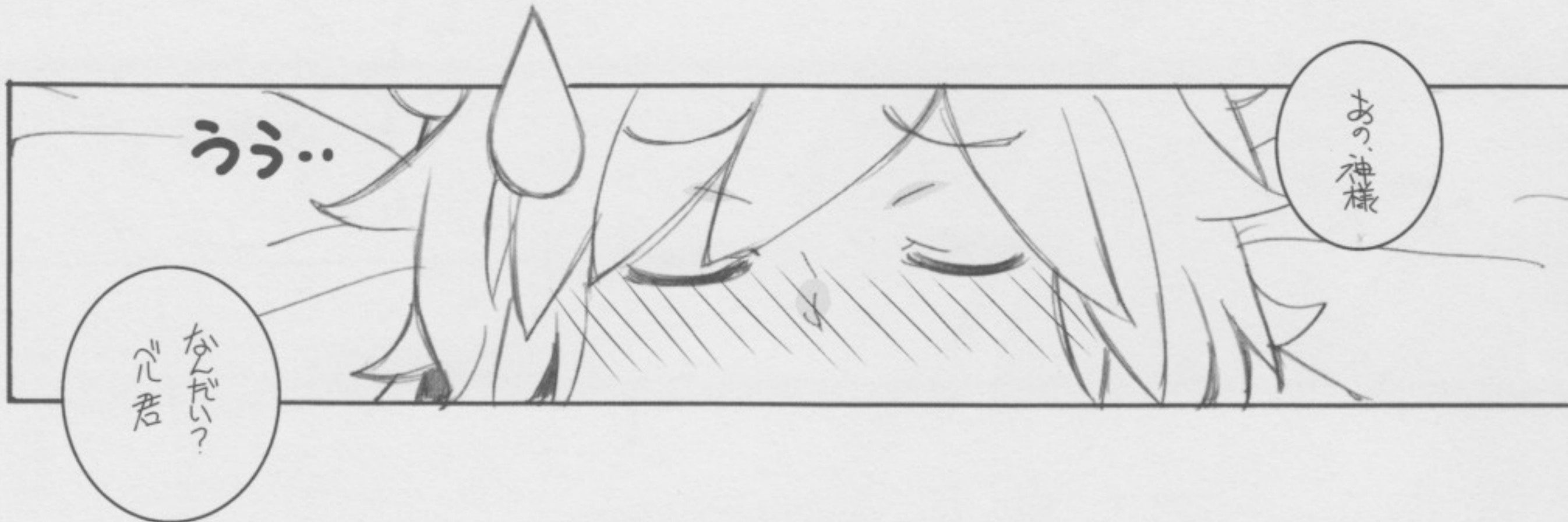


The sacrifice this time

EΣTIA

for ADULT ONLY





おの、神様

うう..

なんだい？
おん君



救な
ねた！

ああ、
そ夫かい？

おん様
命向て高々十光の
「MGNJHNRD
ふふい〜ん

おっ、おっ、

ん？

おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、

ふいふい-

ふいふい-

ふいふい
ふいふい
ふいふい
ふいふい
ふいふい

おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、

おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、

おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、
おっ、おっ、

おっ、おっ、

わからなくて
イイが原因は
君にあるんだぞ
ズルズル!!

君と来たからこれから
事ある毎に困った娘を
助けてはしゃ
助けられてはしゃ
するんだよ

わな

あーもー!!
考えさだめて
腹が立つ!!

えー!!

おき

わな

おなな!!
ゴメンなナニ

わからず
二歩先の今!!
ボクは二歩先に
進ませろ!

ーん!!

んげん!!

05
パチ

んげん!!

「おはようございませ〜!!
なんじやいせ〜!!
顔に似合おれ何て凶悪な
装束なんだ〜!!」

ズン

「おはようございませ〜!!
なんじやいせ〜!!
顔に似合おれ何て凶悪な
装束なんだ〜!!」

「大人の余裕で
イチャコイするは
迂闊に挑んだら
「ツチが喰われ」
ツチ」

ツラ

「こ言み超!
ヤル気いあひら
そんな「ボク」の事
待ってんなら
「ツチが喰われ」!!」

「飛躍する
かたがひ」

「はら〜ん!!
袖様そんな
いじ〜ち!!
「ツチが喰われ」
ツチ」

ツキ

ツキ

ツキ

「も〜の仕方ないな
「んか」がその気なら
ボクは大人しく
君と遊んでくれ
おはよう」

ツキ

「ツチが喰われ」
ツチ

ツキ

ツキ

「!?」

ツキ

ツキ



早く早く早く!!
何が何やら無さ
ななななな!!

期待した
ホクのドキを
返しておくれ!!

もー!!!

ブニ

ブニ

「...うん、うん、うん...」
正に神楽の
物の感触で
「ドキ」...

ドキ!!!

これなら
押しつけられた
柔らかい尻で
目のやり場が
無いので

ぎゅーん♡

はっ!!

あー、もう!!
ズルいヤヘルくん!
君は股園の剣たけびなく
羞め殺しホクを
萌死にさせる
つもりかい!

袖様の儼々
「おん」
小太な指に
かまふが出来
ぬ...

つてもう
復活しては



か!! 神様、
出ニカニなて
こからニれ以ま
あーっ!!

んっ!!
んっ!!

ちゅっ!!

ちゅっ!!

んっ!!

んっ!!

ちゅっ!!

んっ!!

なへんくん...
特別に許すから
おんも...
くらあいか♡

むっ!!

んっ!!

んっ!!

んっ!!
んっ!!
んっ!!
んっ!!
んっ!!
んっ!!
んっ!!
んっ!!
んっ!!
んっ!!

んっ!!

ちゅっ!!

ちゅっ!!



だめ...
 手...
 手...
 手...
 手...
 手...
 手...
 手...
 手...

神様...
 神様...
 神様...

手...
 手...
 手...
 手...
 手...

凄じながら
べしべし
ホクもつい熱く
なってきた

はー

はー

はー

これにまだ
この固さ
耐えはとてかく
良体なだ

か神様ごときなら
ももこのれで
十分ですから
△今日休まれた
方が

何でか
しつこく
本音で
話さ

これにホラ
君の男と計
言ったま
な

この先ホラ
いなか
ナニの
ア

ドキ

ドキ

ん

ぬ

あ

当分は
ホクも
満足して
た

ドキ

ドキ

ふふ

せふくた
更なる
横擬戦
し

ふふ

「あれ、
おんなじな」
「ええええ」

「横撮りだ」
「後でお相手
すよからん」

「おんなじな
「おんなじな」
「おんなじな」
「おんなじな」

「おんなじな」
「おんなじな」
「おんなじな」
「おんなじな」

「おんなじな」

「おんなじな」

「おんなじな」

「おんなじな」
「おんなじな」
「おんなじな」
「おんなじな」

「おんなじな」
「おんなじな」
「おんなじな」
「おんなじな」

「おんなじな」

「おんなじな」

「おんなじな」

「おんなじな」

「おんなじな」

「何の話だかたぼり
おかりませんがもう
神様の好きに
いいです!!」

アゲアゲ

アゲアゲアゲアゲ

アゲアゲ

あー♡

あー♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

はっ
ふる..
はっ

あーあーの
ホムムムムム
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

あー♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

アゲアゲ

あー♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

あー♡!!

あー♡!!
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

流石だ…ハルくん
予想通り、最初の
一撃でホクはもう…
おっ…

おっ…
おっ…

おっ…
おっ…

おっ…
おっ…

「…ハルくんはナニ
神様…今持
良くてまた…おっ…
おっ…」

おっ…
おっ…

「イヤ、ハルくん♡
好きだから
ホクの中を
動いてくれ
♡!!」

おっ…
おっ…

おっ…
おっ…

「ハルくんを
一杯に
してくれ
♡」

おっ…
おっ…



神様!!

ポポ

ハル君

あー、神様!!
神様、また!
イキます!!
出ます!!

は、

ポポ

は、

ハル君!!

は、

ハル君

神様!!

出ます!!
ハル君!!
イキます!!
出ます!!
ハル君!!
イキます!!
出ます!!

神様!!

神様!!

また、また、
ハル君!!
イキます!!
出ます!!

ハル君!!

2. 次の更新...



早く更新して
早くね?

へへへへ...
もしかなく
ても

SS

お母さん
後援者
お母さん
お母さん
お母さん



もう!
べん様
言っ下されば
リリカ"172"も
2"2"でも
お相手
いたし封
の=ロ

ぬ

!!

奥付
2015-05-02
コミック1
責任者 新井 和崎
印刷所 ねこのしっぽ
未成年者の購入及び第三者による
無断転載違法アップロードを禁ずる
b-room@isoftbank.jp

つが!!